



春の樂歡
を何たる無情ぞや
うらめしい心な天候
花と産業博の平町に
惠まれた日は殆んど數日

平町の櫻は春に添えて産葉博
を開催し不景氣を外の激振を
呈してはるが恵まれた日
候に出入を減殺されるもの少
なからず開場の火蓋を切つた
本月一日以來の氣象は
一日晴、二日晴、三日晴、
四日晴、五日曇、六日晴風
七日晴、八日雨、九日晴、
十日晴後雨、十一日晴、十
二日雨、十三日晴、十四日
晴、十五日雨、十六日晴、
十七日晴、十八日晴後曇、
十九日雨

平町字研町から久保町を経て
好間村その他の山手方面の諸
部落に通ずる杉の澤道路は明
治十七年古親治町山崎與三郎
氏の先代及び研町吉村善代治
氏の子孫が計画中であつた研

平町第二小學校校長佐藤一氏が
石城郡内郷村高坂校に轉じ其
後任として石城担任の縣視學
津田達造氏を迎へた同町父兄
側から伏見町長、井上茂作、
永山和乎、學校側の商業校長
吉田利吉氏會我第一校長、赤
津第三校長及び第二首席金澤
十日前十時除幕式を舉行の
筈であるが當時の功勞者で長
生する吉村翁を中心とする式
は切り開いた道を傍らの神前
に思ひ出深きものがあるであ
らう

本縣自動車協會の總會は既報
の如く十九日午前十時から
平町第三小學校講堂に於て開
催された當日はあい憎の雨で
來會者は氣遣はれたが花と産
博の賑はひに引つけられた前
日から來町せる遠隔地の會員
に來賓及び地元の出席を合せ
て四百餘名の出席を算し定刻
平支部長伊藤善長開辭を述べ
協會長中里善部長の告辭あり
て別項優良従業員五十名の
表彰を終り左記事項に關する
附議の後來賓伏見町長及び日
本自動車組合聯合會長柳内諒
三氏其他の祝辭に對し受賞者
總代好間軌道會社齋藤三藏氏
興辭を述べ午後二時閉會直ち
に雨の松ヶ岡公園に移り園遊
會を見合せて園内旗亭ときわ
に今盛る観櫻の宴を張り更に
午後五時から同町谷口樓に於
て懇親會を催し同八時散會を
盡

平町新町から久保町を経て
好間村その他の山手方面の諸
部落に通ずる杉の澤道路は明
治十七年古親治町山崎與三郎
氏の先代及び研町吉村善代治
氏の子孫が計画中であつた研

平町第二小學校校長佐藤一氏が
石城郡内郷村高坂校に轉じ其
後任として石城担任の縣視學
津田達造氏を迎へた同町父兄
側から伏見町長、井上茂作、
永山和乎、學校側の商業校長
吉田利吉氏會我第一校長、赤
津第三校長及び第二首席金澤
十日前十時除幕式を舉行の
筈であるが當時の功勞者で長
生する吉村翁を中心とする式
は切り開いた道を傍らの神前
に思ひ出深きものがあるであ
らう

本縣自動車協會の總會は既報
の如く十九日午前十時から
平町第三小學校講堂に於て開
催された當日はあい憎の雨で
來會者は氣遣はれたが花と産
博の賑はひに引つけられた前
日から來町せる遠隔地の會員
に來賓及び地元の出席を合せ
て四百餘名の出席を算し定刻
平支部長伊藤善長開辭を述べ
協會長中里善部長の告辭あり
て別項優良従業員五十名の
表彰を終り左記事項に關する
附議の後來賓伏見町長及び日
本自動車組合聯合會長柳内諒
三氏其他の祝辭に對し受賞者
總代好間軌道會社齋藤三藏氏
興辭を述べ午後二時閉會直ち
に雨の松ヶ岡公園に移り園遊
會を見合せて園内旗亭ときわ
に今盛る観櫻の宴を張り更に
午後五時から同町谷口樓に於
て懇親會を催し同八時散會を
盡

本縣自動車協會の總會は既報
の如く十九日午前十時から
平町第三小學校講堂に於て開
催された當日はあい憎の雨で
來會者は氣遣はれたが花と産
博の賑はひに引つけられた前
日から來町せる遠隔地の會員
に來賓及び地元の出席を合せ
て四百餘名の出席を算し定刻
平支部長伊藤善長開辭を述べ
協會長中里善部長の告辭あり
て別項優良従業員五十名の
表彰を終り左記事項に關する
附議の後來賓伏見町長及び日
本自動車組合聯合會長柳内諒
三氏其他の祝辭に對し受賞者
總代好間軌道會社齋藤三藏氏
興辭を述べ午後二時閉會直ち
に雨の松ヶ岡公園に移り園遊
會を見合せて園内旗亭ときわ
に今盛る観櫻の宴を張り更に
午後五時から同町谷口樓に於
て懇親會を催し同八時散會を
盡

本縣自動車協會の總會は既報
の如く十九日午前十時から
平町第三小學校講堂に於て開
催された當日はあい憎の雨で
來會者は氣遣はれたが花と産
博の賑はひに引つけられた前
日から來町せる遠隔地の會員
に來賓及び地元の出席を合せ
て四百餘名の出席を算し定刻
平支部長伊藤善長開辭を述べ
協會長中里善部長の告辭あり
て別項優良従業員五十名の
表彰を終り左記事項に關する
附議の後來賓伏見町長及び日
本自動車組合聯合會長柳内諒
三氏其他の祝辭に對し受賞者
總代好間軌道會社齋藤三藏氏
興辭を述べ午後二時閉會直ち
に雨の松ヶ岡公園に移り園遊
會を見合せて園内旗亭ときわ
に今盛る観櫻の宴を張り更に
午後五時から同町谷口樓に於
て懇親會を催し同八時散會を
盡

本縣自動車協會の總會は既報
の如く十九日午前十時から
平町第三小學校講堂に於て開
催された當日はあい憎の雨で
來會者は氣遣はれたが花と産
博の賑はひに引つけられた前
日から來町せる遠隔地の會員
に來賓及び地元の出席を合せ
て四百餘名の出席を算し定刻
平支部長伊藤善長開辭を述べ
協會長中里善部長の告辭あり
て別項優良従業員五十名の
表彰を終り左記事項に關する
附議の後來賓伏見町長及び日
本自動車組合聯合會長柳内諒
三氏其他の祝辭に對し受賞者
總代好間軌道會社齋藤三藏氏
興辭を述べ午後二時閉會直ち
に雨の松ヶ岡公園に移り園遊
會を見合せて園内旗亭ときわ
に今盛る観櫻の宴を張り更に
午後五時から同町谷口樓に於
て懇親會を催し同八時散會を
盡

本縣自動車協會の總會は既報
の如く十九日午前十時から
平町第三小學校講堂に於て開
催された當日はあい憎の雨で
來會者は氣遣はれたが花と産
博の賑はひに引つけられた前
日から來町せる遠隔地の會員
に來賓及び地元の出席を合せ
て四百餘名の出席を算し定刻
平支部長伊藤善長開辭を述べ
協會長中里善部長の告辭あり
て別項優良従業員五十名の
表彰を終り左記事項に關する
附議の後來賓伏見町長及び日
本自動車組合聯合會長柳内諒
三氏其他の祝辭に對し受賞者
總代好間軌道會社齋藤三藏氏
興辭を述べ午後二時閉會直ち
に雨の松ヶ岡公園に移り園遊
會を見合せて園内旗亭ときわ
に今盛る観櫻の宴を張り更に
午後五時から同町谷口樓に於
て懇親會を催し同八時散會を
盡

本縣自動車協會の總會は既報
の如く十九日午前十時から
平町第三小學校講堂に於て開
催された當日はあい憎の雨で
來會者は氣遣はれたが花と産
博の賑はひに引つけられた前
日から來町せる遠隔地の會員
に來賓及び地元の出席を合せ
て四百餘名の出席を算し定刻
平支部長伊藤善長開辭を述べ
協會長中里善部長の告辭あり
て別項優良従業員五十名の
表彰を終り左記事項に關する
附議の後來賓伏見町長及び日
本自動車組合聯合會長柳内諒
三氏其他の祝辭に對し受賞者
總代好間軌道會社齋藤三藏氏
興辭を述べ午後二時閉會直ち
に雨の松ヶ岡公園に移り園遊
會を見合せて園内旗亭ときわ
に今盛る観櫻の宴を張り更に
午後五時から同町谷口樓に於
て懇親會を催し同八時散會を
盡

石城郡卅四ヶ村の
町村會議員の大會
選舉法の改正や米專賣法
を要望附議の後名士の講演
今日の雨で
茨川氾濫
昨夜來平地に降り續いた
雨は今十九日正午頃に於て夏
井川の増水七尺に達し各河川
にも濁流を増して赤井川の茨
川は急激なる増水で氾濫の結
果同村前道路は一瞬水に溢
れ交通不能に陥らんとしたが
午後からは雨は暫ら復した
平土木監督所及び平署では目
下被害程度を調査中であるが
管内に若干の床下浸水家屋が
ある位のもので道路や河川には
尙ほ満洲全圖町村長會編井主
大した影響なき模様であると

協會から表彰された
優良従業員五十名
別項所報の縣自動車協會總會
に於て晴れの表彰を受けたる
ものは五十名で此の優良従業
員の氏名は左記の如くである

方秋山登、同小澤次方齋
藤順吾、飯坂安齋藤作方修
野貞誠、桑折谷津藤治方佐
藤吉四郎、保原佐藤藤藏方
小池登、梁川谷津藤藏方本
間五兵衛、川俣本田吉吉方
重野重、二本松伊藤善二
方伊藤善二、同自動車會社
伊藤善次右工門、本宮長谷
川源五助方長谷川敬吉、郡
山クラブ自動車會高橋鶴
松、同共和自動車會方藤
原善八、同日東紡績工場方
藤下孫次、須賀川佐藤啓次
郎方大和田匡康、同大沼掃
次郎方福田友治、若松小瀧
自動車會方小瀧新壽、同
ホマレ自動車會方藤重雄
同後藤銀次郎方磯具進浦
同會津自動車會方酒井宗
徳、田島自動車會方近藤
一好、同星勇治方星川周作
善多方齋藤實方藤山茂清、
同庄司朝臣方庄司權兵衛、
猪苗代古河榮吉方波部權内
坂下眞島純一方鈴木平作、
高田大沼興業會方二瓶廣
信、白河田崎藤四郎方小池
保信、同富澤治方渡邊兵之
助、矢吹館安則方野崎政之
助、柳倉東白自動車會方
松崎新次郎、石川福南自動
車會方橋本爲次、三春三田
記一方大橋廣次、同佐久間
金治小野新町分治郎方國
分一三、平町半運輪會方
山崎竹治、同好間軌道會方
方齋藤三藏、同鈴木福實方
藤本善吉、同佐藤文治郎方

平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

今野專治、同磐城海岸軌道
會社成田榮太郎、植田勿來
自動車會社金成晃、同大平
芳春かた大平勇一、四倉植
田三郎かた出羽會次、富岡
鈴木善吉かた松本傳、浪江
綠仙松かた本山元三郎、中
村木場次郎かた小谷津芳
同豊田政記かた佐藤養治原
町愛澤爲五郎かた愛澤芳術

藤田女學校
修學旅行
平町藤田女學校の上級生二十
八名は二十日平澤で修學
旅行をなすが方面は日光
鎌倉、江の島等行程三泊四日
間の檢定である

花に浮かれ
無錢飲食
泥酔して雨の
街路に横たはる
平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

平町新道通りに於ける今十九
日午後一時頃の雨の街路にル
ペンペンしい男が泥酔して横
臥し居るを平署員が発見取調
べると同人は兵庫縣出石郡室
敷村生れ土工當時住所不定中
島源治四郎と稱し此程まで石
城郡泉村本屋渡邊重太郎かた
に寄食し居たるも農務期が來
たので一と移してとると若
干の小使錢を貰ひ受け出立し
たが該金を使ひ果して平町を
さまよひ同日松の壽司店かた
に於て酒二本と牛飯を無錢飲
食し斯くの仕末と判り同署に
檢束された

或問答
（一九）十寸 斐
と云ふ如く日常不細不識の間
なんと巧ますして一句調をな
す
山奥に車留めあり
差配人
然し吾が川柳は只人々の社會
觀察上得た感念を十七字に並
べさへすればよいかと云ふに
は出來ないのであります

五十年前の功勞に
今新たなる記念碑
平町杉の澤道路の開鑿に
徳を施へた末代までの花

平町字研町から久保町を経て
好間村その他の山手方面の諸
部落に通ずる杉の澤道路は明
治十七年古親治町山崎與三郎
氏の先代及び研町吉村善代治
氏の子孫が計画中であつた研



稲 發生經過(三) 病其の方除法

農試本場 伊藤技手  
口、温度の異なる室内及び  
室外に堆積せる場合に於ける  
稻熱菌分生胞子の生活  
力

温室室内、試験期日昭和二  
年十一月十五日胞子四五％  
三、菌系二〇％、同三年五  
月三日胞子三五％五、菌系  
二七％

自然温度室内昭和二年十一  
月十五日胞子四五％三、菌  
系三〇％同三年五月三日胞  
子五％六、菌系二八％  
室外昭和二年十一月十五日  
胞子四五％、菌系三〇％  
同三年五月三日胞子菌系共  
共に〇％

ハ、屋外に堆積せし被害粟  
の稻熱菌の生活力、  
薬液の外部、試験期日昭和  
二年十一月十五日胞子四  
五％三、菌系三〇％、同三  
年五月三日胞子菌系共に  
〇％

葉積の内部、試験期日昭和  
二年十一月十五日胞子四五％  
菌系三〇％同三年五月三日  
胞子菌系共に〇％  
以上三つの試験成績を見るに  
稻熱菌は胞子にて越冬す  
ることは頗る困難であつて菌  
糸の状態が容易に越冬し得る  
事を知ることが出来る

### 開店の御挨拶

福島貯蓄銀行は眞の庶民金融機関として最も簡便に貯金の機会を得て實行し得る様各地に代理店を設置し着々よき成績を擧げて居ります我々平町は海岸地方に於ける經濟界の中心地にして往年各位の御引立を蒙り相當の實績を見たので今般大蔵大臣の認可を得まして左記の處へ福島貯蓄銀行平支店を新設して四月十四日より開業致しました何卒多少に拘らず御引立の程を願上ります

株式会社 福島貯蓄銀行平支店  
電話三〇八番

味ふて下さいませ

### 當店の誇を

桜花の美を作す食堂の裝飾

美しい女給のサービス

居ながらのお花見気分

平野町 カフェー タヒラ (電話六二〇)

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科  
院長 醫學士 高久忠

高久病院

元 詰 G・H・N スペイン  
酒 葡萄酒  
一 ト ワイン  
一 i o  
御婦人の方には少し水を加へて召し上るご風味一そう佳良です  
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

見習生募集  
精幸堂  
十四才より十六才迄  
(委細面談)  
平町才地小路  
(キクチ自動車店向)

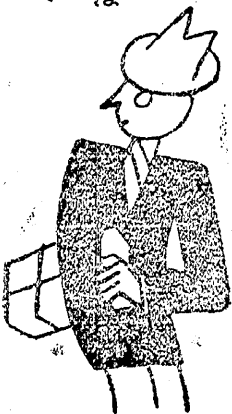
高橋時計店

病の最新薬  
美神 一週分四〇〇  
淋薬 二週分八〇・五  
代理店 平町 山野邊藥局

平町 山野邊藥局

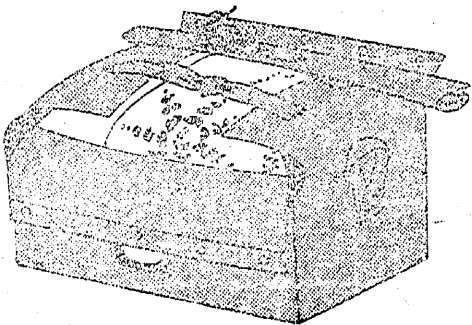
模範裁縫

高島屋洋服店  
平町驛前 電話三八六番



冬服の御用命は  
高島屋へ  
新柄着荷

赤玉印 フトン袋  
御類似品有赤玉印に注意を願います  
松印 夜具五入枚 貳圓七拾錢  
竹印 夜具二枚入 參圓貳拾錢  
梅印 夜具貳枚入 三圓參拾錢  
三重蓋バンド付 四圓五拾錢  
!各種陳列目下 賣出し中!



特約販賣店 丸ぼん  
平三丁目 電三五九

お子様方入学進級の御用意

帽子

靴

下靴 セドンラ

ヤルツ

總革製  
七十八錢  
九十錢  
一圓卅錢

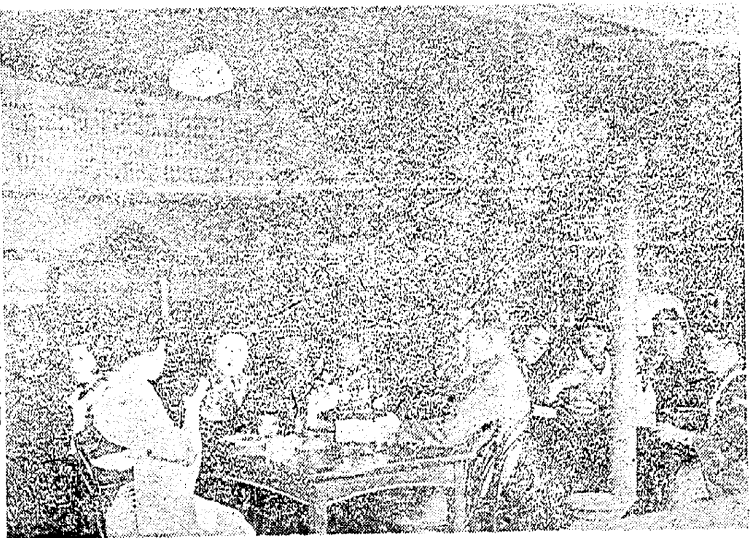
是非一度御出下さい

自慢の大蒲燒の外に江戸一流の職人を迎へ味と体裁の良し

都壽司始めました

●是非一度御試合願ひます  
うな井 金五十錢

平、田町 魚 榮  
電話四二四番



ランチ四品付五十錢 五品付定食一圓  
支那料理 赤タン  
電話五七六番

外科 (内臓外科) 醫學士 松永憲一  
産科、婦人科 院長 木村寅次郎  
平町新川町一九  
電話一六四番 木村病院

明治生命

代理店

山崎與三郎

醤油 味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品



鹽屋 山崎合名會社  
電話 福島縣平町  
本店 二七番

お醤油は ヤマフル